

# カエルハーネスだより

168号

## 理事長からの言葉



上尾市向山1-14-7  
社会福祉法人 竹柿会  
TEL: 048-782-0575  
FAX: 048-782-0590  
令和2年5月25日発行

どうやら首都圏も緊急事態宣言が解除されそうです(5月24日に書いています)。少しずつ日常生活を取り戻していくのかなと思います。とは言え、特効薬やワクチンが開発されたわけではないので、完全に今まで通りということにはならないでしょう。皆さんに不自由をお掛けしている面会制限もすぐに解除ということにはならないと思います。厚生労働省から面会制限解除の通知は出ていないので、すでに緊急事態宣言が解除された地域でも面会制限が継続中です。高齢者施設の集団感染を防ぐということから、しばらくは続くと思います。もう少しお待ちいただければとお願い申し上げます。

さて、そんな時に政界は検察官の定年延長問題で大揺れです。問題の是非はさて置くと、今回世論が大きく動き、さすがの総理も国民感情を無視できなくなったということに注目したいと思います。その世論の動きも、新聞を中心としたメディアではなく、ツイッター等のネット上の動き=ツイッターデモと言うんだそうですが、コロナ同様今後の社会の変化を表しているのかなと思います。

話は変わりますが、以前、埼玉県の古文書を扱う仕事をしていました。その際、百姓一揆について調べたことがあります。百姓一揆というと年貢の取り立てが厳しいから起きたというイメージをお持ちでしょう。それは正しいのですが、実際には今までの慣例を破ってより多く取り立てようとした時に起きています。四公六民とか五公五民あるいは六公四民といった年貢の多寡ではなく、四公六民だった地域が五公五民に変わるといった時や災害時は年貢を免除したり逆に米を支給したりといった救済措置をとることになっているのですが、災害時でも通常通り年貢を徴収したりすると契約違反ということで一揆が起こります。処罰は農民だけと思われがちですが、悪政が原因ということで為政者側も罪に問われます。江戸時代は案外公平な契約社会なのです。

埼玉県で最も有名なのは「中山道伝馬騒動」という、群馬県から埼玉県の中山道沿いの農民が一斉に立ち上がった一揆です。これは幕府の一部役人と有力な御用商人・名主が結託して中山道沿いの村々から今まで課していなかった伝馬役という年貢を徴収しようとしたのが原因です。数万の農民が熊谷で忍藩兵を破り、桶川の狐塚の決戦で名主の連合軍を破ります。一揆の勢いに恐れをなした幕府は、農民に人気があった関東郡代の伊奈半左衛門を派遣して、農民を慰撫します。事実上の幕府の敗北です。一揆を首謀した「関兵内」は処刑されますが、原因を作った役人・商人・名主も処罰されます。埼玉県の児玉地方では関兵内の功績を称えて、すでに江戸時代から「兵内くどき」という歌を歌う祭りを行っています。

こうやって見てくると、世論を動かす原動力はいつの時代も変わらないのかなと思いました。事情はどうあれ、正当な理由なく現状を変えるということはやってはいけないのではと思います。何かを変える時は、多くの人が納得する理由と丁寧な説明が必要なのではないかと思います。

## 4～5月の行事

5/4～6『菖蒲湯』を行い、邪気を払い無病息災を祈願しました。

**特養では**、カーネーションを渡したり、シェーク作りなどユニット毎に母の日レクを行いました。また、調理レクや玄関前に飾られた兜の前で記念写真を撮りました。

**デイでは**、箭の輪っかに棒をひっかけ箭を取るゲームやカエルを飛ばして点数を競い合うゲームをしました。また、後ろ向きにボールを投げ入れる種目や2人の意気を合わせてボールをタオルでポンと飛ばす競技の向山運動会を開催しました。

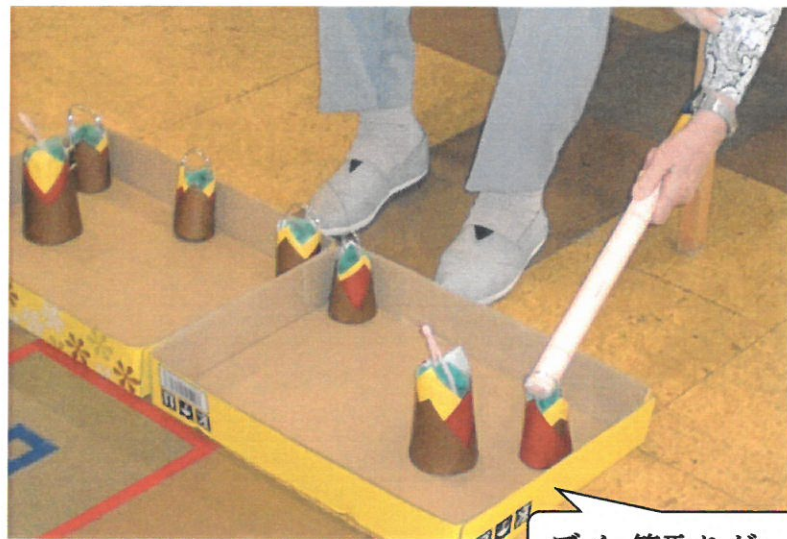
## 5～6月の予定

**特養では**、誕生日会や父の日のレクをユニット毎に考えています。また、調理レクやおやつレクなども計画しています。

**デイでは**、夏の壁画や一輪挿し作りなどを行います。また、色々な種類のゲームを計画しています。



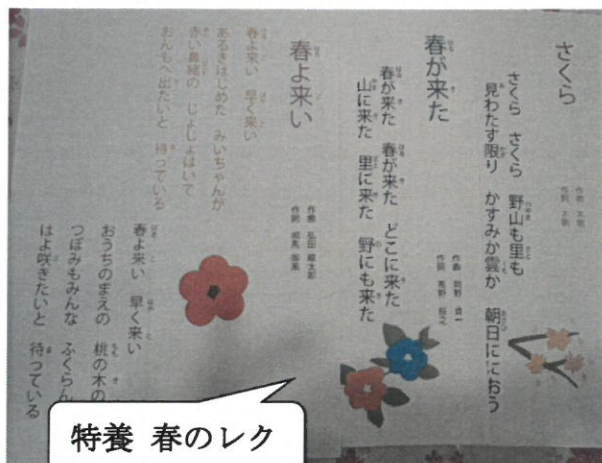




デイ 筒取りゲーム



特養 母の日



特養 春のレク



デイ 母の日工作



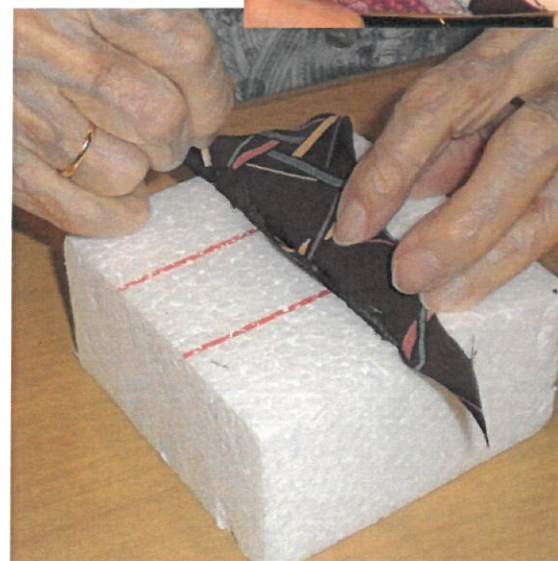
デイ 木目込み飾り



特養 お茶会



デイ 向山運動会



デイ かえる飛ばしゲーム